

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340910 001

【1.基本情報】

事業名	放課後児童クラブ事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市放課後児童クラブ連合会
実施期間	昭和43 年度～ 年度	根拠法令・関連計画	児童福祉法 社会福祉事業法		

【2.事業概要】

事業の目的		保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。 (児童福祉法「放課後児童健全育成事業」)
事業の内容		放課後及び学校の長期休暇期間に、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童を対象に、小学校の余裕教室等において、適切な遊び及び生活の指導を通じ、生活習慣の確立や自立ができるよう支援する。
事業 の 対 象	何を	遊び及び生活の指導など
	誰に	小学生
	どのくらい	学校のある日の放課後～17時・18時(一部クラブでは19時まで延長) 長期休暇期間中の平日の8時15分～17時・18時(一部クラブでは19時まで延長)
令和3年度 (実施内容)		全46小学校区で放課後児童健全育成事業を実施 37クラブで19時までの時間延長を実施

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	26,520	780	25,350	780	25,194	780
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	5,408	520	5,356	520	5,356	520
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	31,928	1,300	30,706	1,300	30,550	1,300

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		576,600	586,332	605,257
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	人件費	370,271	514,003	547,957
	委託料	25,325	26,785	31,564
	備品費	18,055	9,256	9,417
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		576,600	586,332	605,257

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	608,528	617,038	635,807

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	115,913	137,065	130,471
県支出金	112,694	134,284	122,322
市債			
使用料・手数料			
その他	193,289	175,867	214,793
計(F)	421,896	447,216	467,586

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	186,632	169,822	168,221

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	利用児童	利用児童	利用児童
受益者数	3,442	3,637	3,682
受益者負担額(千円)	193,289	175,867	214,789
受益者負担率(%)	31.8%	28.5%	33.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	54,222	46,693	45,687

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開設か所(クラブ)数	単位	か所
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	46	46	46
実績値	46	46	46

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用児童数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	3,442	3,637	3,682
実績値	3,521	3,390	3,441
達成状況	○（達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	共稼ぎ世帯やひとり親世帯が増加しており、それらの世帯にとって欠かすことができない事業になっている。 民間活力の導入など、さまざまな運営の在り方を検討する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	児童クラブの教室は主に小学校の余裕教室を利用し、費用はクラブ運営費(人件費、備品購入費など)が中心であるため、効率的に運営できている。 民間活力の導入など、さまざまな運営の在り方を検討する。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	利用者希望調査や利用申込みの結果に基づき、小学校6年生までの受入や19時まで時間延長の拡大を実施している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	児童福祉法の規定により、放課後及び長期休暇期間に保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童を対象にしており、適正である。 利用時間ごとに利用負担を設定している。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	土曜児童クラブとともに、本事業の目的達成のため、事業内容の充実を図る。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	杭州市との交流事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和54 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		杭州市と岐阜市の青少年が隔年で相互に訪問して交流を深めることで、国際理解を深めるとともに、次代を担う青少年の人材育成を図る。
事業の内容		杭州市と岐阜市の青少年が隔年で総合に訪問し、友好校での授業、各種行事への参加、ホームステイ等を通して交流を図る
事業の対象	何を	学校高りゅやホームステイを中心にした交流
	誰に	両市の市内の青少年代表や教育関係者
	どのくらい	隔年で話し合う
令和3年度 (実施内容)		杭州市から岐阜市へ児童生徒と引率者が来岐し、友好校と交流を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,400	100	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	3,400	100	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		707		
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	負担金	707		
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0		
計(D)=B+C		707	0	0

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	4,107	0	0

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	4,107	0	0

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	派遣団員	—	—
受益者数	15	—	—
受益者負担額(千円)	354	—	—
受益者負担率(%)	8.6%		
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	273,800		

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	日中交流者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	15	—	—
実績値	15	—	—

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	日中交流者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	15	—	—
実績値	15	—	—
達成状況	○（達成）	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	40年間にわたって岐阜市は杭州市との友好関係を市の多様な場面で継続して取り組んでおり、青少年の国際理解を深める必要性から、今後も大切にする必要がある。 1979年以降、友好都市提携をしており、岐阜市と杭州市が主体となっていることに意味があることから、市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	訪中団の年度は中国滞在時にかかる費用を杭州市側が、訪日団の年度は日本滞在時にかかる費用は岐阜市側が、互いに負担しあうため、連携を広げることは困難である。 訪日時の交流を全校規模で実施したり、訪中後の報告会を全校向けに実施するなど、よりよい交流の成果発表について調査研究の余地がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	派遣した青少年が国際理解を深め、杭州市や中国、他国を身近に感じ仲間に伝える姿や、国際的に活躍したいと願うことなどから、青少年の時期に、国際交流を体験することは、次代を担う青少年の人材育成につながっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者は訪中団員を受け入れる友好校及び市立小学校、中学校の児童生徒であり、適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	岐阜市は杭州市との友好関係を市の多様な場面で継続して取り組んでおり、岐阜市の次代を担う青少年の国際理解を深め、より一層の友好関係を育む必要性から、今後も事業を大切にする必要がある。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	003
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	青少年健全育成事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市青少年育成市民会議
実施期間	昭和44 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		地域内の各種団体の参加を求め、共同で地域における青少年育成運動を進めるために、個別の団体活動を支援・強化することや地域の人々の自発的、自主的な活動を推進していくことをねらいとする。
事業の内容		○地域青少年育成事業は、青少年育成活動の強化・明るい家庭づくりの促進・非行防止・環境浄化活動を促進している。 ○青少年育成ブロック活動推進事業は、近隣地域が相互に連絡調整を図り、青少年育成活動を活発にするための研修に関する事業等を展開している。 ○毎年1月は「明るい家庭づくり運動」強調月間と定め、明るく豊かな家庭づくり運動を展開し、その一環として、各ブロック持ち回りで市域の「家庭の日」推進大会を開催し、広く市民に「家庭の日」の啓発をしている。
事業 の 対 象	何を	青少年健全育成事業や非行防止活動
	誰に	校区の青少年
	どのくらい	年間を通して、強調月間などを設けて
令和3年度 (実施内容)		青少年の健全育成と非行防止活動を推進するために、地域育成活動・ブロック活動を地域住民とともに積極的に進めた。新型コロナウイルス感染症感染の影響で中止や縮小もしたが、地域で考えた活動が行われた。また、青少年育成市民会議の第5ブロックが中心に、「家庭の日」推進大会を動画配信にて開催した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,400	100	3,250	100	3,230	100
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	2,392	230	2,369	230	2,369	230
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	5,792	330	5,619	330	5,599	330

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		12,869	12,101	15,600
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	12,748	11,980	15,480
	保険料	121	121	120
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		12,869	12,101	15,600

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		18,661	17,720	21,199

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	18,661	17,720	21,199

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	407,574	406,407
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	46	43	52

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	市民会議会員数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1,500	1,500	1,500	
実績値	1,500	1,500	1,500	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	実施事業回数		単位	回数
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1,500	1,500	1,500	
実績値	1,853	1,502	1,583	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	青少年の健全育成と非行防止活動は、まちづくりを担う次世代の育成を行っていく上で重要な課題 青少年の健全育成や非行防止活動、社会環境浄化活動や明るい家庭づくりは、国や県も一緒に取り組むべきことであるが、市が率先して取り組む事柄である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	新型コロナウイルス感染症感染の影響下においても市内の各地域にある青少年育成市民会議を取りまとめる岐阜市青少年育成市民会議に委託し、各地域が積極的に取り組んでおり、効率性は高いといえる。 岐阜市青少年育成市民会議に委託を行い、また、地域住民のボランティア活動に依拠している現状からは、市民協働が図られているといえる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	委託を行った青少年育成市民会議は、各地域に根差した取組を行っており、市民協働の醸成が図られているとともに、地道な取組により得られる効果は、将来得られるものと思われるものである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者は、市内に遍く存在する子ども・若者であるため、公平性は高い。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	政策・施策達成のために優先すべき事業である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	004
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	青年各種団体運営費補助				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	青年団体
実施期間	昭和53 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則 岐阜市青少年各種団体運営費補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		青年各種団体活動の活性化を図りながら、少子高齢化における地域での青年の役割を果たさせることで青少年の健全育成に寄与する。
事業の内容		青年各種団体にその団体活動を活性化させ、より有意義な活動に結び付けるため補助金を交付する。
事業 の 対 象	何を	団体の運営費補助金として
	誰に	青年団体
	どのくらい	団体の人数、活動に応じて予算額の範囲内で補助する。
令和3年度 (実施内容)		岐阜市シニアリーダークラブに運営補助金を支出した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	68	2	65	2	65	2
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	68	2	65	2	65	2

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		78	32	35
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	78	32	35
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		78	32	35

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		146	97	100

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		146	97	100

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	青年団体	青年団体	青年団体
受益者数	1	1	1
受益者負担額(千円)	76	78	32
受益者負担率(%)	52.1%	80.4%	32.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	146,000	97,000	99,600

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	補助事業者数	単位	件
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	1	1	1
実績値	1	1	1

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	補助事業者数	単位	件
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	1	1	1
実績値	1	1	1
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	青年団体の社会貢献活動や地域活動への援助、次世代の地域人材の育成であるため、社会のニーズに添うものです。 市内での活動であること、地域の将来人材の育成等につながることから、市で実施するのが、妥当。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	青少年の自主的組織に対する助成であり、青少年の社会参画に向けた地域活動に対する一定の効果が図られている。 岐阜市の青少年の育成に資する団体の育成は、岐阜市が行うのが妥当。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	補助事業の実績報告を受けることで、青年団体の活動内容を検証し、本来の目的である効果が得られているかを確認している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	援助団体が特定しているので、受益者負担が適正に行われているか、常に検証する必要があるが、社会貢献活動や地域活動を継続的・活性化させるための助言等の指導が必要である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	制作・施策達成のために優先すべき事業であり、現状のまま実施する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	006
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	補導・指導業務				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和39 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		・教育的配慮を基に、青少年一人一人に自信と希望を与える。 ・保護的配慮を基に、青少年の支えとなる。 ・被権力的配慮を基に、不良行為の摘発ではなく、見守りを心がける。
事業の内容		専任補導員及び各地域に委嘱した7名の地域補導委員により、随時、各地域において地域補導活動を実施する。青少年の保護的な配慮を基本とした「声かけ」を実施し、青少年の健全育成に努める。
事業 の 対 象	何を	青少年の不良行為、社会環境の浄化。
	誰に	不良行為に及ぶ危険性のある青少年の指導、地域社会における不審者等からの青少年の保護。
	どのくらい	50地域で行う地域補導活動と社会・青少年教育課が行う街頭指導及びボランティア補導
令和3年度 (実施内容)		・補導の実施・・・236回(地域補導、街頭補導、ボランティア補導の合計) ・声かけ人数・・・4,496人 ・不良行為:0人、迷惑行為:0人

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,020	30	975	30	969	30
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	5,408	520	5,356	520	5,356	520
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	6,428	550	6,331	550	6,325	550

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		116	55	72
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	消耗品	74	55	70
	会議費	42	0	2
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		116	55	72

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	6,544	6,386	6,397

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	6,544	6,386	6,397

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	小中高校生	小中高校生	小中高校生
受益者数	30,651	30,458	29,479
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	214	210	217

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	補導実施回数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	500	500	500
実績値	436	153	236

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	補導実施人数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	青少年の健全な育成、非行防止、社会環境の浄化のために岐阜市が取り組んでいる。 非行防止のために地域関係団体の協力を得て取り組むが、実施主体は行政主導で行わなければ活動が維持できない。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	青少年の健全な育成、非行防止、社会環境の浄化を目的とした、青少年の健やかな成長に役立っている。 非行防止のために地域関係団体の協力を得て取り組むが、実施主体は行政主導で行わなければ活動が維持できない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	青少年の健全な育成、非行防止、社会環境の浄化を目的とした、青少年の健やかな成長に役立っている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内全域、全中学校区で行っており、公平である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	非行防止、青少年の健全な育成のために地域関係団体と一体となって取り組むとともに中学校区を中心とした地域指導を行う。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340910 007

【1.基本情報】

事業名	非行防止活動中学校区非行防止連携強化事業委託				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	学校及び地域団体
実施期間	昭和53 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		青少年が非行に走ることを防止するとともに、健全な育成を図ることを目的とし、青少年が安心して明るく伸び伸びと成長できる環境を目指す。
事業の内容		○小学校・中学校・高校並びに地域関係団体との連絡強化、連絡調整及び情報交換 ○青少年の健全育成に関する啓発と指導 ○その他中学校区非行防止、健全育成
事業 の 対 象	何を	青少年の健全育成と非行防止活動を地域ぐるみでの活動
	誰に	小中高校生
	どのくらい	全中学校区を単位として
令和3年度 (実施内容)		小中高校生並びに地域関係団体との連絡強化、連絡調整及び情報交換を行い、青少年の健全育成に関する啓発や指導等を行った。校区によっては形骸化、予算の使い道に困り感があるようであることから、各校へのアンケートによる実態把握を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	340	10	325	10	323	10
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	340	10	325	10	323	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		654	624	608
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	654	624	608
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		654	624	608

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	994	949	931

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	994	949	931

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	小中高生	小中高生	小中高生
受益者数	31,044	30,449	29,852
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	32	31	31

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	市内中学校数	単位	校
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	22	22	23
実績値	22	22	23

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	市内中学校数	単位	校
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	22	22	23
実績値	22	22	23
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	青少年の健全育成と非行防止のため、中学校区単位で連携しながらの活動は公共性が高く、主体となる各中学校区にある児童生徒を育てる連絡協議会と市が連携して取り組んでいく。 青少年の健全な育成や非行防止のために岐阜市が取り組んでいる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	青少年の健全育成や非行防止のため、小学校・中学校・高等学校並びに地域関係団体が一体となり活動している。 中学校区単位で組織された児童生徒を育てる連絡協議会による非行防止のための活動を地域が一体となって実施してきた。アンケート結果を受けて、同種の事業が他にできたことから事業の一本化を図ることで、効率性や役員の負担軽減につなげる必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	非行防止のために小学校・中学校・高等学校並びに地域関係団体が一体となって、活動されている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内全中学校区を対象としており、公平である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	本事業は小・中・高等学校並びに地域関係団体が一体となり継続的に非行防止活動を行ってきたが、本事業を同種の事業に一本化させるためR4年度をもって本事業は終了することとなった。今後も、児童生徒の健全育成のために必要な様々なノウハウを持った各校区の組織と連携していく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	008
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	青少年育成市民会議運営費補助金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市青少年育成市民会議
実施期間	昭和53 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則 岐阜市青少年育成市民会議運営費補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		地域内の各種団体の参加を求め、共同で地域における青少年育成運動を進めるために、個別の団体活動を支援・強化することや地域の人々の自発的、自主的な活動を推進していくことをねらいとする。
事業の内容		○地域青少年育成事業は、青少年育成活動の強化・明るい家庭づくりの促進・非行防止・環境浄化活動を促進している。 ○青少年育成ブロック活動推進事業は、近隣地域が相互に連絡調整を図り、青少年育成活動を活発にするための研修に関する事業等を展開している。 ○毎年1月は「明るい家庭づくり運動」強調月間と定め、明るく豊かな家庭づくり運動を展開し、その一環として、各ブロック持ち回りで市域の「家庭の日」推進大会を開催し、広く市民に「家庭の日」の啓発をしている。
事業 の 対 象	何を	青少年健全育成事業や非行防止活動
	誰に	校区の青少年
	どのくらい	年間を通して、強調月間などを設けて
令和3年度 (実施内容)		青少年を健全に育成するために、非行防止活動や環境浄化活動、少年や青年たちにとって価値のある活動を実態に応じながら進める岐阜市青少年育成市民会議の活動を支援するために補助をした。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	680	20	650	20	646	20
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	680	20	650	20	646	20

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		300	300	300
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	300	300	300
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		300	300	300

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		980	950	946

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		980	950	946

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	407,574	406,407
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2	2	2

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	市民会議会員数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1,500	1,500	1,500	
実績値	1,500	1,500	1,500	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	実施事業回数		単位	回数
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1,500	1,500	1,500	
実績値	1,853	1,502	1,583	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	青少年の健全育成と非行防止活動は、まちづくりを担う次世代の育成を行っていく上で重要な課題 青少年の健全育成や非行防止活動、社会環境浄化活動や明るい家庭づくりは、国や県も一緒に取り組むべきことであるが、市が率先して取り組む事柄である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	新型コロナウイルス感染症感染の影響下においても市内の各地域にある青少年育成市民会議を取りまとめる岐阜市青少年育成市民会議に委託し、各地域が積極的に取り組んでおり、効率性は高いといえる。 岐阜市青少年育成市民会議に委託を行い、また、地域住民のボランティア活動に依拠している現状からは、市民協働が図られているといえる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	委託を行った青少年育成市民会議は、各地域に児童生徒に応じた根差した取組を行っており、市民協働の醸成が図られているとともに、地道な取組により得られる効果は、将来得られるものと思われるものである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者は、市内に遍く存在する子ども・若者であるため、公平性は高い。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	政策・施策達成のために優先すべき事業である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	009
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	新成人を祝い励ます会				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市、各自治会連合会
実施期間	昭和43 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則 新成人を祝い励ます会運営費補助要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		大人になることを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますために制定された「成人の日」に、新しく成人となる青年を地域社会で祝い励まし大人としての自覚を促す。
事業の内容		市内50の自治会連合会が、「成人の日」にふさわしい内容で、工夫をこらした企画運営を行っている。運営費補助金としては、地域均等割3万円、新成人の人数割1,500円/人とし、各自治会連合会に交付する。また、新成人への案内のために、はがき・切手を配布している。
事業の対象	何を	新成人を祝い励ます会運営費補助金等
	誰に	市内50の自治会連合会へ
	どのくらい	運営費補助金の支出、市内施設入場券等・新成人への案内はがき・切手の配布
令和3年度 (実施内容)		それぞれの地域で実施日を決め、各自治会連合会の計画により実施された。運営費補助金としては、地域均等割3万円、新成人の人数割1,500円/人とし、各自治会連合会へ交付した。また、案内のために、はがき・切手を配布した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,400	100	3,250	100	3,230	100
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	3,400	100	3,250	100	3,230	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		9,777	10,878	9,821
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	478	414	390
	役務費	605	1,417	593
	補助金	8,096	8,404	7,665
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		9,777	10,878	9,821

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	13,177	14,128	13,051

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	13,177	14,128	13,051

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	新成人対象者	新成人対象者	新成人対象者
受益者数	4,464	4,422	4,174
受益者負担額(千円)	198	125	125
受益者負担率(%)	1.5%	0.9%	1.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,952	3,195	3,127

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	参加新成人の割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	80	80	80	
実績値	76	0	73	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	参加新成人の割合		単位	%
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	80	80	80	
実績値	76	0	73	
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	成人になった自覚を促し、地域社会への目を向けさせる機会となっている。 自治会連合会の主催で開催されているが、事業の趣旨から公共性が高く、岐阜市が支援していくべきものである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	自治会連合会への補助により、地域に根差した事業が実施されており、一定の成果をあげている。 自治会連合会の主催で開催されているが、事業の趣旨から公共性が高く、岐阜市が支援していくべきものである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	自治会連合会が主催する式典であり、新成人に大人としての自覚を促し、地域社会へ目を向けさせる機会となっており、シビックプライドの醸成に寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内の各地域で開催されており、市内で遍く開催されている行事といえる。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	政策・施策達成のために優先すべき事業であり現状のまま実施する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	010
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	少年自然の家管理				
担当部名	教育委員会事務局		担当課名	社会・青少年教育課	
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団
実施期間	平成1 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市少年自然の家条例 岐阜市少年自然の家条例施行規則	

【2.事業概要】

事業の目的		少年が自然に親しみ、自然の中で集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練し、もって健全な少年の育成を図る。その他、生涯学習の拠点施設として広く市民の期待に応える。			
事業の内容		①集団宿泊活動に関する事 ②自然に親しむ活動に関する事 ③スポーツ、レクリエーション及び野外活動に関する事 ④創作活動及び郷土学習に関する事 ⑤少年団体等の育成指導者の研修に関する事 ⑥少年の健全育成に資する事業に関する事			
事業の 対象	何を	自然体験学習、 リーダー養成学習			
	誰に	児童生徒及び青少年			
	どのくらい	季節や年齢・発達段階に応じたアウトドア体験を行う。			
令和3年度 (実施内容)		教育課程に基づく受け入れ事業や青少年団体の受け入れ事業、子供・家族の集いに関わる主催事業、研修啓発事業を実施した。			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	340	10	325	10	323	10
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	340	10	325	10	323	10

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		136,874	141,820	131,119
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	指定管理委託料	133,884	130,602	130,178
	工事請負費	476	10,417	0
	備品購入費	1,477	748	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		52,896	52,896	52,896
計(D)=B+C		189,770	194,716	184,015

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		190,110	195,041	184,338

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料		3,879	240	640
その他		1,068	106	311
計(F)		4,947	346	951

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		185,163	194,695	183,387

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	利用者数	利用者数	利用者数
受益者数	23,470	4,130	9,579
受益者負担額(千円)	3,879	240	240
受益者負担率(%)	2.0%	0.1%	0.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	7,889	47,142	19,145

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開館日数	単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	298	298	298
実績値	301	295	237

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	施設開設以来の利用者数(累計)	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	929,000	957,000	964,000
実績値	918,858	922,988	932,567
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	青少年が自然と親しみ、心豊かな少年を育成する上で、有意義かつ有効な教育施設である。 青少年が自然の中で体験しながら学習する機会を提供する施設を岐阜市が設置している。岐阜市の自然を生かし、身近で自然体験学習や集団宿泊活動ができる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	青少年が自然の中で体験しながら学習する機会を提供し、岐阜市の自然を生かした身近で自然体験学習や集団宿泊活動ができる。 岐阜市が設置し、施設管理について指定管理財団を導入している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	青少年が自然と親しみ、心豊かな少年を育成する上で、有意義かつ有効な教育施設である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	青少年活動の受入れを公平に行っている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	青少年が自然と親しみ、心豊かな少年を育成する上で、有意義かつ有効な教育施設である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	011
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	家庭教育啓発事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市青少年問題協議会 岐阜市教育委員会
実施期間	平成11 年度～	年度	根拠法令・関連計画	令和3年度 青少年育成市民運動実施要項	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜市青少年問題協議会では、岐阜市青少年育成市民運動を提唱し、同要綱に基づき「教育の原点は家庭にある」という認識にたつて、平成11年からスローガンを掲げ、家庭教育啓発のための市民運動を行っている。
事業の内容		青少年問題協議会で確認されたスローガンについて、啓発用のチラシを作成し、市内小中学校の全生徒に配布し、啓発を行う。また、青少年育成市民会議の各部会の会合等でも配布し、学校以外でも啓発を行う。
事業 の 対 象	何を	家庭教育に対する意識啓発と実践
	誰に	市民全般
	どのくらい	各家庭で、家庭教育の重要性が認識され、実践がなされるまで
令和3年度 (実施内容)		スローガン「決めて、守ろう！『我が家のルール』」のチラシ、ポスターを作成して、小・中学校や公民館に配布したり、関連作文を募集するなどして認知度を高める取組を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	680	20	650	20	646	20
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	680	20	650	20	646	20

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		141	129	129
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	141	129	129
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		141	129	129

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		821	779	775

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		821	779	775

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	407,574	405,193
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2	2	2

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	発行部数		単位	部
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	23,000	23,000	23,000	
実績値	23,000	23,000	23,000	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	発行部数		単位	部
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	23,000	23,000	23,000	
実績値	23,000	23,000	23,000	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	家庭の教育力の向上は、時代によって社会が変化しようともどの家庭にも当てはまる課題であり、青少年育成につながることから必要性が高く、公益性がある。 教育の原点は家庭にあるという認識に立ち、公益性の観点から、岐阜市が中心となって行っていくべき事柄である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	実施しているスローガン『家族そろって朝食を』、『決めて守ろう！「我が家のルール」』、『家族みんなが一人一役』など、経年で取り組んだことからスローガンが定着している。 家庭教育力の向上は、青少年の健全な育成に係る重要な要因であり、市が中心となって取り組む事柄である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	平成23年度から実施しているスローガン『決めて守ろう！「我が家のルール」』については、関係機関との連携による啓発活動に加え、小中学生の作文応募を通して家庭での話題となり、成果が見られる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	家庭教育力向上という公益性があるため、市内のどの家庭においても関わることであり、公平性がある。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	青少年問題の解決を図るために、家庭教育力の向上は、市の政策・施策達成のために優先すべき事業であり現状のまま実施する。また家庭教育の充実により、子どもたちの健やかな成長がなされることを十分に認識してもらうため、充実した活動を継続していく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340910 013

【1.基本情報】

事業名	岐阜市少年の主張大会				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市青少年育成市民会議 岐阜市教育委員会
実施期間	平成23 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		わが国社会や国際的な環境が大きく変化する現代社会にあって、次代を担う子どもたちには、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められている。そのためには広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身につけることが大切である。これらの契機となることを願い、「岐阜市少年の主張大会」を実施する。
事業の内容		市内の中学生を対象に主張の募集を行い、岐阜市少年の主張大会を開催する。この大会で「少年の主張岐阜県大会」出場のための圏域選考会に推薦する4名を決定する。
事業の対象	何を	社会や世界に向けての意見や提案および将来の夢・家族・友達等課題に応じたテーマ
	誰に	市内の中学生
	どのくらい	市内各中学校代表1名が主張
令和3年度(実施内容)		市内の中学生を対象に募集を行い、感染対策を施した上で「岐阜市少年の主張大会2021」を6月に実施した。審査を通して、「少年の主張岐阜県大会」への出場者選抜の事前審査となる岐阜圏域の選考会へ市代表を決定し、4人を推薦した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	850	25	813	25	808	25
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	52	5	52	5	52	5
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	902	30	864	30	859	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		244	261	261
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	244	261	261
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		244	261	261

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,146	1,125	1,120

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,146	1,125	1,120

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	中学生	中学生	中学生
受益者数	28	28	28
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	40,929	40,179	40,000

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	生徒募集数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	28	28	29	
実績値	28	28	29	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用者		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	24	24	23	
実績値	24	20	25	
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	次代を担う青少年が広い視野で論理的な思考で自らの意志を表明する機会の確保という観点で公共性が高く、また青少年育成市民会議や中学校との連携実施の点からも行政の実施が望ましい。 市の実施だけでなく、岐阜圏域、県全体と規模を広げて、広域大会への実施につながっていくことから、事業は市が担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	今年度は新型コロナウイルス感染症感染の影響で参加者が少なくなったものの、市内の公立中学校からの出場者があり、発表生徒の論旨(内容)や論調(話し方)について質が年々上がっている。また、会場に訪れる多くの参加者が中学生の主張を熱心に傾聴している。 教育委員会と青少年育成市民会議の共催で実施しており、事前準備、当日の運営について、連携を図っている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	主張大会を継続することにより、少年が自分の意志を表明する機会が確保できている。青少年育成市民会議を中心とした地域からの参加もあり、中学生の主張を聞いた市民からも好評を得ている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内全市立中学校及び特別支援学校、私立中学校に募集をしているため、公平である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	少年の主張を同年代だけではなく、大人も聞くことで今後の地域の活動等にも生かされている。広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力の育成につないでいく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	014
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市放課後チャイルドコミュニティ推進事業				
担当部名	教育委員会事務局		担当課名	社会・青少年教育課	
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成19 年度～	年度	根拠法令・関連計画	第2期岐阜市次世代育成支援対策行動計画	

【2.事業概要】

事業の目的		小学校の児童を対象として、放課後の学校に、安全・安心な子どもの活動場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に学習活動やスポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民との交流活動等の取り組みを推進する。
事業の内容		放課後チャイルドコミュニティ推進事業は、岐阜市における放課後の子どもたちの安心・安全な居場所作りの一環として、次の3つの事業を相互に連携を図りながら実施していくものである。①「放課後子ども教室推進事業」②「放課後図書室活用事業」③「放課後児童健全育成事業」
事業 の 対 象	何を	遊び、物作り、地域交流、学習活動(予習や復習、補習等の簡単な学習内容)
	誰に	市立小学校の児童(1年生～6年生)の希望者
	どのくらい	「子ども教室」は年間20回から40回程度、「学びの部屋」は週1から5回程度で、1回あたり1時間から3時間程度
令和3年度 (実施内容)		「放課後子ども教室」5教室開設 「放課後学びの部屋」12部屋開設

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,840	260	8,450	260	8,398	260
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	8,840	260	8,450	260	8,398	260

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		14,541	2,004	3,512
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	報償費	11,872	1,408	2,666
	委託料	2,428	215	505
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		14,541	2,004	3,512

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	23,381	10,454	11,910

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金	4,649	647	1,066
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	4,649	647	1,066

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	18,732	9,807	10,844

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	参加児童数	参加児童数	参加児童数
受益者数	3,202	298	802
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,850	32,909	13,521

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	実施学校数	単位	校
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	46	46	46
実績値	37	9	13

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	事業実施回数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	2,305	2,325	2,325
実績値	1,907	267	507
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	子どもたちの放課後の居場所づくりという公共性が高い事業である。 市立小学校児童が対象であり、市での実施が妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	子どもたちの放課後の安心、安全な居場所づくりとなっている。 民間活用ができればいいが、ボランティア性が高く、採算性は低く難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	子どもたちの安全・安心場な居場所づくりとなっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	岐阜市内全ての小学校に開設する目標を掲げているが、目標達成には至っていない。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	子どもたちの安全・安心場な居場所づくりという必要な事業である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340910 015

【1.基本情報】

事業名	土曜児童クラブ事業				
担当部名	教育委員会事務局		担当課名	社会・青少年教育課	
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市放課後児童クラブ連合会
実施期間	平成19 年度～	年度	根拠法令・関連計画	児童福祉法 社会福祉事業法	

【2.事業概要】

事業の目的		保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。(児童福祉法「放課後児童健全育成事業」)
事業の内容		土曜日の昼間に、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校1年生から3年生までの児童(定員に余裕があれば4年生まで)を対象に、小学校の余裕教室において、適切な遊び及び生活の指導を通じ、生活習慣の確立や自立ができるよう支援する。
事業の対象	何を	遊び及び生活の指導など
	誰に	平日に放課後児童クラブを利用する児童のうち、土曜日に保護者が労働等で家庭にいない児童
	どのくらい	土曜日の午前8時15分～午後6時
令和3年度(実施内容)		草潤中学校及び厚見放課後児童クラブの教室を利用して毎週土曜日に開設

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	2,704	260	2,678	260	2,678	260
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	2,704	260	2,678	260	2,678	260

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		6,976	4,459	6,216
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	人件費	6,621	4,117	5,910
	委託料	261	225	236
	備品費	94	96	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		6,976	4,459	6,216

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	9,680	7,137	8,894

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	1,526	1,212	1,268
計(F)	1,526	1,212	1,268

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	8,154	5,925	7,626

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	利用児童	利用児童	利用児童
受益者数	94	78	74
受益者負担額(千円)	1,526	1,212	1,268
受益者負担率(%)	15.8%	17.0%	14.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	86,745	75,962	103,054

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開設か所(クラブ)数	単位	か所
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	2	2	2
実績値	2	2	2

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用児童数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	75	75	75
実績値	94	78	74
達成状況	○（達成）	○（達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	共稼ぎ世帯やひとり親世帯が増加しており、それらの世帯にとって欠かすことができない事業になっている。 民間活力の導入など、さまざまな運営の在り方を検討する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	児童クラブの教室は主に小学校の余裕教室を利用し、費用はクラブ運営費(人件費、備品購入費など)が中心であるため、効率的に運営できている。 民間活力の導入など、さまざまな運営の在り方を検討する。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	利用者希望調査や利用申込みの結果に基づき、受入を実施している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	平日の放課後児童クラブの利用者で、土曜日にも保護者が労働等により家庭にいない児童を対象にしている。 平日とは別途で利用負担を設定している。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	本事業の目的達成のため、事業内容の充実を図る。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	016
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	「家庭の日」啓発事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成19 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		毎月第3日曜日の「家庭の日」は、昭和42年に県条例として制定され、本市でも家族で話し合い、楽しみ合い、協力し合うことによる明るい家庭づくりを推進している。			
事業の内容		毎月第3日曜日の「家庭の日」に、中学生以下の子どもを連れた家族を対象に公共施設の入場料無料の周知を図る。			
事業の 対象	何を	啓発チラシ			
	誰に	市民			
	どのくらい	23, 000枚			
令和3年度 (実施内容)		市民への広報を目的に啓発チラシを作成し、配布した			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	170	5	163	5	162	5
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	170	5	163	5	162	5

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		116	129	129
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	116	129	129
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		116	129	129

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		286	292	291

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		286	292	291

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	407,574	405,193
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1	1	1

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	発行部数	単位	部
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	23,000	23,000	23,000
実績値	23,000	23,000	23,000

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用者	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	23,000	23,000	23,000
実績値	23,000	23,000	23,000
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	家庭は青少年育成の原点であり、明るい家庭づくりをすすめることは青少年の健全育成にとって重要であるため、岐阜市が広報している必要がある。 県が条例により「家庭の日」を啓発しているので、岐阜市も一緒に取り組んでいる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	小中学校児童生徒や青少年育成市民会議等でのチラシ配布など様々な機会で開催している。 青少年育成市民会議も明るい家庭づくりを推進している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	チラシを作成して、市民や事業者への周知を図っている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	チラシは、多くの市民や事業者に配布しているため適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	「家庭の日」の啓発による家庭教育力の向上は、市の政策・施策達成のために優先すべき事業であり現状のまま実施する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 2340910 017

【1.基本情報】

事業名	岐阜市青少年国際教育夢プロジェクト事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	その他	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市青少年国際教育夢プロジェクト事業実行委員会
実施期間	平成21 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		海外の文化や生活習慣等を体験的に学び、国際理解を深めたり国際感覚を培ったりし、国際化時代に対応できる青少年の育成を図るとともに、国際的視野から社会的事象を見つめ、自らの将来に夢や志しをもって生きようとする青少年の育成を図る。
事業の内容		市内の中学生16名を公募により選考し、アジアの国に派遣し交流活動を実施する。また、派遣の成果が大きくなるよう、事前・事後研修を全7回にわたって実施する。その後、現地研修を行い、自ら進んで体験をしたり、現地の人々と交流し、自分や岐阜市について紹介したり、得意なものを披露したりする。帰国後は研修をまとめ、多くの人に学んだことや成果を報告する。
事業 の 対 象	何を	アジアを中心とした国への中学生の派遣と現地での体験・交流活動、及び事前・事後の研修
	誰に	公募により選考された市内在住の中学生
	どのくらい	現地研修7泊8日。事前研修5回程度、事後研修2回程度(報告会含む)。
令和3年度 (実施内容)		市内の中学生16名を公募により選考し、モンゴルに派遣し交流活動を行ったうえで、派遣の成果が大きくなるよう、事前・事後研修を実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症感染の影響で令和3年度の事業を中止した。

【3.支出（行政コスト）】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,400	100	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員（旧嘱託）	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員（臨時雇用員）	0		0		0	
計(A)	3,400	100	0	0	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		4,953	0	0
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	負担金	4,953	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,953	0	0

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	8,353	0	0

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	8,353	0	0

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	派遣団員	派遣団員	派遣団員
受益者数	16	－	－
受益者負担額(千円)	320	－	－
受益者負担率(%)	3.8%		
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	522,063		

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	派遣する青少年		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	16	－	－	
実績値	16	－	－	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用者		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	16	－	－	
実績値	16	－	－	
達成状況	○（達成）	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	国際化時代に対応し、自らの意思で行動できる青少年の育成を図るとともに、国際的視野から社会的事象を見つめ、自らの将来に夢や志をもって生きようとする青少年の育成を図る必要がある。 市内の中学生対象とした事業であり、国際感覚や国際的な見識をもった外部識者を加えた実行委員会で運営している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	海外の文化や生活習慣等を体験的に学び、国際理解を深めたり国際感覚を培ったりし、国際化時代に対応できる青少年の育成を図ることができている。派遣生による報告会を実施し、成果を広めるようにしている。 派遣する国の関係機関と連携し、現地における研修を安全かつ充実したプログラムにする必要がある。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	派遣生や保護者から大変好評を得ている。また、これをきっかけとして、将来の進路に良い影響を与えたり、国際的な視野に立って考えることができる子どもが育っている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内の全公立中学校、私立中学校にはチラシやポスターを配布し、HPにもチラシを掲載し、市内在住の中学生の応募者から派遣生を、選考基準に基づいて選考しているため、公平である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	国際的視野から社会的事象を見つめ、自らの将来に夢や志しをもって生きようとする青少年の育成を図るために、今後も必要である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	019
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	リーダー養成				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	平成19 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市青少年会館条例、岐阜市青少年会館条例施行規則 岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画、岐阜市子ども若者生き生きプラン	

【2.事業概要】

事業の目的		「地域に貢献したい」という志をもって、自発的、主体的に行動できる中高校生を育てる。
事業の内容		・CVS登録証の発行。 ・地域活動を紹介する通信を発行。 ・地域ボランティア講座を通じて、地域貢献の意義や求められる技能等の学習。 ・年度ごとの活動記録に基づき、認定証等を発行し、教育委員会が表彰。
事業 の 対 象	何を	地域活動への参加
	誰に	市内の中・高校生のCVS登録者
	どのくらい	CVS登録証を発行した上で、地域活動実施の報告を受け、表彰を行う
令和3年度 (実施内容)		・CVS登録証の発行。 ・地域活動を紹介する通信を年3回発行。 ・年度ごとの活動記録に基づき、認定証等を発行し、教育委員会が表彰。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,840	260	8,450	260	8,398	260
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	8,840	260	8,450	260	8,398	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		404	233	351
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	消耗品費	303	170	212
	郵送料	59	25	48
	印刷製本費	42	38	91
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		404	233	351

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		9,244	8,683	8,749

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		9,244	8,683	8,749

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	CVS登録者	CVS登録者	CVS登録者
受益者数	1,488	1,342	1,489
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,212	6,470	5,876

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	CVS登録者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	1,300	1,300	1,300
実績値	1,488	1,342	1,489

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	CVS表彰者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	400	400	300
実績値	514	169	363
達成状況	○（達成）	×（未達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地域においても、中高生の力を必要としている。 また、生徒が自己有用感を得る為にも、生徒自身が認められたり、励まされたする場が必要。 学習指導要領においても、「中学生がボランティア活動や地域の人々と幅広く交流し、社会貢献や社会参加することが生きる力をつけることに繋がる」としている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	地域の情報収集や広報、認定、表彰事務が主であり、経費に比して普及効果はあがっている。 自主的にボランティアの場を見つけることが望ましいが、自立する準備期間である青年期(中学、高校)には、市で認め、励ますことが重要である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	中学時に行ったボランティア活動を機として高校生登録者が増加してきた。 新型コロナウイルス感染症感染の影響に伴い活動場所の減少により、表彰者は減少しているものの、ボランティアを継続的に取り組みたいと願う生徒は依然として多く、社会が不安定になっても「社会とつながるきっかけづくり」というCVSの目的が形となってあらわれてきている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	全中学校に登録用紙を配布している。 また、HPに内容を掲載し、オンライン登録ができるようにもした。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	費用は、主に事業にかかる消耗品であり、登録者数も多くいることから、見合った効果は得られている。 登録者の増加に対し、さらに諸団体に働きかけ、中高生の社会貢献の場を広げる。また、生徒主導で行う参画型のボランティアも認め、励ます場面を増やしていく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	020
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	ぎふ探求ネットワーク事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	社会・青少年教育課
実施期間	令和元 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜市少年自然の家での様々な体験活動を通して、岐阜市ジュニアリーダークラブに所属するジュニアリーダー(中・高校生)と、岐阜市シニアリーダークラブのシニアリーダー(大学生)の、地域貢献活動でのリーダーとしての資質向上
事業の内容		・岐阜市少年自然の家での事前研修(シニアリーダー)及び1泊2日の宿泊研修 ・PDCAサイクルによる一人一人への支援と達成感の共有 ・参加者同士の相互交流による自己有用感の育成
事業の対象	何を	岐阜市少年自然の家での体験活動
	誰に	岐阜市ジュニアリーダークラブ員(中・高校生)・岐阜市シニアリーダークラブ員(大学生)
	どのくらい	ジュニアリーダークラブ員(50人)、シニアリーダークラブ員(15人)
令和3年度(実施内容)		地域貢献活動への参画意欲を高める活動をシニアリーダークラブ員が企画・運営した。ジュニアリーダークラブ員は資質能力の向上を図るべく様々な研修を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、日帰りでの研修となった。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	136	4	65	2	323	10
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	136	4	65	2	323	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		181	0	27
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	使用料及び賃借料	170	0	0
	消耗品費	11	0	27
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		181	0	27

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	317	65	350

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	317	65	350

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	参加者	参加者	参加者
受益者数	48	0	34
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,604		10,294

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	参加者数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	35	35	35
実績値	48	0	34

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	参加した生徒の満足度	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	80	80	80
実績値	96	0	97
達成状況	○（達成）	—	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地域の社会貢献のためにボランティア活動を通して活躍したいが、どのように行うとよいのか不安を抱える中高生に対して、きっかけとなる機会を与えることとなっている。 シニアリーダーやジュニアリーダーへの研修の場を市が位置付けることで、地域ボランティア活動や子ども会活動の支援等がより充実したものになった。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	宿泊費や食費等、個人で使用するものに関しては個人負担としている。消耗品費のみで実施しているため費用対効果は高い研修ができています。 岐阜市少年自然の家を利用した研修会であり、低予算で様々な活動ができ、充実した研修となっている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	参加したクラブ員からは「これまで学んだことがないことを体験できた。」「後期のボランティア活動に進んで参加し、学んだことを活かしたい。」等、研修によって今後の活動に広がりを感じ取っていた。 これまで消極的だったクラブ員が、その後の活動で積極的に取り組む姿が見られ、研修の有効性が見られた。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	前年度から岐阜市の中高生対象にジュニアリーダーを募集した上で、さらに岐阜市ジュニアリーダークラブ所属のクラブ員(150名)に募集をかけることに加え、ジュニアリーダーに興味をもつ生徒も対象とした活動を行っている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	シニアリーダーの大学生とジュニアリーダーの中高生のつながりを深めつつ、子ども会のインリーダースや各地域(諸団体)とも連携して活動する体制を作り、岐阜市の青少年の育成と青年リーダーの育成を今後も継続して推進していく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	022
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	青少年会館管理運営委託				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類	-	実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団
実施期間	平成12 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市青少年会館条例、岐阜市青少年会館条例施行規則	

【2.事業概要】

事業の目的		(1) 青少年の活動拠点として(2) 青少年育成団体の活動拠点として (3) 地域住民の生涯学習施設として(4) 地域の教育力を高める場所として
事業の内容		(1) 青少年育成事業(講座、相談、学習支援等、居場所) (2) 貸館の管理業務(予約対応、使用料徴収、美化管理、修繕等)
事業 の 対 象	何を	青少年を対象とした各種事業及び施設の管理運営
	誰に	青少年(35歳未満)、青少年育成者、一般市民
	どのくらい	年間約10万人
令和3年度 (実施内容)		青少年の自己実現を応援する施設として、社会参加の促進、社会的自立支援、学びの提供の場となるよう 青少年講座などの学習機会を提供し、少年団体活動等の支援を行い、若者の居場所となるよう機能の充 実に努めた。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,224	36	1,170	36	1,163	36
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	1,224	36	1,170	36	1,163	36

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		37,034	37,370	37,329
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	37,034	37,370	37,329
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		37,034	37,370	37,329

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	38,258	38,540	38,492

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	1,434	850	887
その他			
計(F)	1,434	850	887

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	36,824	37,690	37,605

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	利用者	利用者	利用者
受益者数	103,099	39,335	38,287
受益者負担額(千円)	1,434	850	887
受益者負担率(%)	3.7%	2.2%	2.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	357	958	982

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	4館 開館日数	単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	1,038	953	920
実績値	1,038	953	920

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用者	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	80,000	35,000	35,000
実績値	103,099	39,335	38,287
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	青少年及び青少年育成団体の支援や、青少年育成市民会議や子ども会の活動拠点として必要である。 市の外郭団体である公益財団法人を指定管理者としている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	施設が老朽化し、整備点検や改修などのメンテナンス費用がかかるため、費用の面では厳しいものがある。 しかし、青少年や青少年育成団体が無料で利用できる唯一無二の施設であり、市内全域にあることで公平な利用を確保しなければならない。 市の外郭団体である公益財団法人を指定管理者としている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	令和2、3年度はコロナ禍の影響で休館や時間短縮を余儀なくされたり、利用者を半数におさえない期間もあり、利用者が激減したものの、コロナ禍前では年間10万人を超える多くの利用がある。 特に小中高生、大学生の学習の場、また学校生活や進路に関わる相談の場としても重要な役割を果たしている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内にバランスよく配置されている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	青少年及び青少年育成団体の支援や、青少年育成市民会議や子ども会の活動拠点の場として、また小中高生、大学生の学習拠点の場として必要な施設であり、今後も青少年が利用しやすい環境整備に努めながら、会館運営を行っていく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	023
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市子ども会育成事業委託				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市子ども会育成連合会
実施期間	昭和41 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン	

【2.事業概要】

事業の目的		子どもたちが学校以外の場で、異年齢集団の中で活動することを通じ、その意義を正しく認識させ、子ども会活動の進展を図り、子どもの健全育成に資することを目的とする。
事業の内容		・地域に根ざした活動やレクリエーション活動等の子ども会活動 ・子どもリーダーの養成に資するインリーダー研修会 ・集団技術の向上に資する集団指導者講習会
事業 の 対象	何を	子どもの健全育成を図ることを目的とした活動
	誰に	子ども会の加入者全員
	どのくらい	生きる力を身につけさせるまで
令和3年度 (実施内容)		・地域に根ざした活動やレクリエーション活動等の子ども会活動（1回以上実施） ・子どもリーダーの養成に資するインリーダー研修会（5回以上実施） ・集団技術の向上に資する集団指導者講習会（1回以上実施）

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,720	80	2,600	80	2,584	80
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	624	60	618	60	618	60
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	3,344	140	3,218	140	3,202	140

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		4,500	2,406	2,762
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	4,500	2,406	2,762
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,500	2,406	2,762

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		7,844	5,624	5,964

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		7,844	5,624	5,964

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	子ども会員	子ども会員	子ども会員
受益者数	10,722	16,170	15,271
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	732	348	391

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	子ども会加入率		単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	80	80	80	
実績値	85	82	79	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	48子ども会育成事業		単位	事業数
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	1,000	336	336	
実績値	985	258	448	
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地域における異年齢間での交流の減少や、その保護者の地域間の交流の減少が、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっていると言われているため、青少年健全育成のためには必要な事業である。 岐阜市内の子ども(小学生)を育成する事業を統括する唯一の団体であり、岐阜市が委託するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	当団体は地域のボランティアであり、人件費はかかっていない。市内の全地域かつ岐阜市内の小学生の約80%が加入しており効果は大きい。 岐阜市内の子ども会を包括することから、当団体以外では運営が困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	小学生の子ども会加入率は80%を超え高い状態を維持しているものの、会員数は減少がみられている。上部組織の会議や行事の見直しを検討し、大胆な事業の選定を行ったことに加え、本事業の意義を説明しながら、会員減少を防ぐよう努めている。依然として大きな効果が期待できる事業である、今後も、上部組織へ働きかけながら効果を得続けられるに努める。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	岐阜市全域を対象とした活動を行っている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	上部組織である岐阜市子ども会育成連合会は、単位子ども会との橋渡し役として相互交流を図ったり、子ども会の健全で安全な活動を推進するために寄与している。 構成する各地域子ども会育成会の意見が反映されやすい組織運営にする動きがあるため今後働きかけを続け、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	024
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜少年少女合唱団運営費補助				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	岐阜少年少女合唱団
実施期間	昭和43 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則 岐阜市青少年各種団体運営費補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		異年齢の繋がりをとおして、好ましい人間関係、豊かな感性、社会性を養う団体であるため、財政的に支援することで青少年の健全育成を促進する。
事業の内容		岐阜少年少女合唱団の活動運営費にかかる経費の一部を補助する。
事業 の 対 象	何を	補助金
	誰に	岐阜少年少女合唱団
	どのくらい	174,000円
令和3年度 (実施内容)		なし 年度を追うごとに団員数が減っていることに加え、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の影響を強く受け、活動に支障をきたしたことで、令和3年度には交付条件である団員数を満たさなくなり、令和3年度から補助を行っていない。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	510	15	488	15	0	0
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	510	15	488	15	0	0

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		174	174	0
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	174	174	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		174	174	0

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	684	662	0

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	684	662	0

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	団員	団員	団員
受益者数	25	18	6
受益者負担額(千円)	1,440	1,116	0
受益者負担率(%)	210.5%	168.7%	
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	27,360	36,750	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	団員数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	35	35	35
実績値	25	18	6

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	団員数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	35	35	35
実績値	25	18	6
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域や異年齢間での交流機会が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっていると言われている。 子どもの健全育成という社会目的であること、岐阜市内で活動する団体であることから、岐阜市が補助を行うのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助額は少額ではあるが、合唱活動をととして学校や家庭ではできない体験をする中で、世代間の隔たりを超え、人間としての成長がある。 他団体からの補助金交付は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	合唱活動をととして情緒豊かな感性や社会性を養うとともに、文化振興に貢献しており、これまでに1,200人以上にのぼる青少年の健全育成に寄与してきた。 また、学校生活においてうまく表現できない子が自己有用感を得られる場となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	Teamsで全学校へ青少年育成団体のチラシを配布し、広く団員の募集を行っている。 公費負担額に比べ団の負担額が大きく適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	日々の練習や定期演奏会などを行い、指導者や異年齢の子ども同士での交流を通して、青少年の健全育成及び文化振興に貢献しており、今後団員数が回復すれば、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	025
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市子ども会育成連合会運営費補助				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	-	実施主体	
実施期間	昭和43 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市教育大綱、岐阜市教育振興基本計画 岐阜市子ども・若者生き生きプラン、岐阜市子ども会育成連合会運営費補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜市子ども会育成連合会が実施する子ども会活動推進事業を補助することで、少年の健全育成に資する。	
事業の内容		・子ども会育成者、指導者、その他の年少指導者の養成及び研修大会 ・子ども会の育成、指導に関する調査研究 ・ブロック体制での子ども会活動 ・子ども会育成者及び指導者、並びに関係機関及び団体との連絡調整 ・子ども会活動の安全対策、並びに全国子ども会安全共済会制度の推進、子ども会の運営に関する予算の編成と執行 ・新年子ども大会 ・ジュニアリーダークラブの育成指導 ・48地域子ども会育成会の会長会、常任委員会 ・子ども会活動の安全対策を推進、並びに関係機関及び団体との連絡調整	
事業 の 対 象	何を	(小学生を中心とした)子ども、青少年の健全育成を図る	
	誰に	子ども会加入者全員	
	どのくらい	育成者会議、研修、大会等、子ども会活動が円滑に運営、推進されるまで	
令和3年度 (実施内容)		感染対策を講じながら、新年子ども大会を実施した。また、ジュニアリーダ一定例会を通して年少指導者の研修を行った。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	5,100	150	4,875	150	4,845	150
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	4,784	460	4,738	460	4,738	460
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	9,884	610	9,613	610	9,583	610

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		2,394	1,184	1,546
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	2,394	1,184	1,546
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,394	1,184	1,546

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	12,278	10,797	11,129

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	12,278	10,797	11,129

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	出席者	出席者	出席者
受益者数	1,930	372	720
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6,362	29,024	15,457

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開催事業		単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	25	25	25	
実績値	25	18	25	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	出席者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	2,000	650	650	
実績値	1,930	372	720	
達成状況	×（未達成）	×（未達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	子ども会活動にあたり必要な指導者のスキルを身につけさせたり、KYT講習を活用することによって安全対策を推進を行うことは、子どもたちの健全育成に貢献している。 岐阜市内の子ども会を統括する唯一の団体であり、岐阜市が補助するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	ボランティア活動であり人件費はかかっていないこと、新型コロナウイルス感染症感染の影響に伴い事業を減らしたこともあるが、出席者のみならず、その市内の5ブロック、地域、単位における子ども会へも活動内容が伝わっていくため効果が上がっている。 岐阜市内の子ども会を包括することから、当団体以外では運営が困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	48地域子ども会で構成される会長会、常任委員会を定期的に開催し、指導者や関係団体との意見交流を行い、各種事業を展開することで、子どもたちの健全育成に貢献している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	当該団体は、岐阜市内の約80%の小学生が加入している子ども会活動を支えるボランティア団体であり、岐阜市全域を対象とした活動を行っている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	岐阜市内の子ども会育成会との連絡調整を図り、子ども会活動の健全で安定的な推進のために寄与しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	026
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	日本ボーイスカウト岐阜市協議会運営費補助				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	日本ボーイスカウト岐阜市協議会
実施期間	昭和40 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則 岐阜市青少年各種団体運営費補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		異年齢の繋がりをとおして、好ましい人間関係、豊かな感性、社会性を養う団体であるため、財政的に支援することで青少年の健全育成を促進する。
事業の内容		日本ボーイスカウト岐阜市協議会の活動運営費にかかる経費の一部を補助する。
事業の対象	何を	補助金
	誰に	日本ボーイスカウト岐阜市協議会
	どのくらい	251,000円
令和3年度 (実施内容)		活動運営費にかかる経費の一部を補助した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	510	15	488	15	485	15
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	510	15	488	15	485	15

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		251	251	216
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	251	251	216
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		251	251	216

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	761	739	701

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	761	739	701

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	団員	団員	団員
受益者数	718	592	328
受益者負担額(千円)	150	200	135
受益者負担率(%)	19.7%	27.1%	19.3%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,060	1,247	2,136

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	団員数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	700	700	700
実績値	718	592	328

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	団員数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	700	700	700
実績値	718	592	328
達成状況	○（達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域や異年齢間での交流機会が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっていると言われている。 子どもの健全育成という社会目的であること、岐阜市内で活動する団体であることから、岐阜市が補助を行うのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助額は少額ではあるが、スカウティング活動をとおして学校や家庭ではできない体験をする中で、世代間の隔たりを超え、人間としての成長がある。 他団体からの補助金交付は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	スカウティング活動をとおして情緒豊かな感性や社会性を養うとともに、文化振興に貢献しており、これまでに多くの青少年の健全育成に寄与してきた。 また、学校生活においてうまく表現できない子が自己有用感を得られる場となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	Teamsで全学校へ青少年育成団体のチラシを配布し、広く団員の募集を行っている。 公費負担額に比べ団の負担額が大きく適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	募金活動などの社会活動や野営活動などの交流を活発に行っている。 このようなスカウティング活動を行い、指導者や異年齢の子ども同士での交流を通して、青少年の健全育成及び文化振興に貢献しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	027
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	ガールスカウト岐阜市連絡協議会運営費補助				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	ガールスカウト岐阜市連絡協議会
実施期間	昭和40 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金交付規則 岐阜市青少年各種団体運営費補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		異年齢の繋がりをとおして、好ましい人間関係、豊かな感性、社会性を養う団体であるため、財政的に支援することで青少年の健全育成を促進する。
事業の内容		ガールスカウト岐阜市連絡協議会の活動運営費にかかる経費の一部を補助する。
事業 の 対 象	何を	補助金
	誰に	ガールスカウト岐阜市連絡協議
	どのくらい	58,000円
令和3年度 (実施内容)		活動運営費にかかる経費の一部を補助した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	510	15	488	15	485	15
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	510	15	488	15	485	15

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		58	58	58
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	58	58	58
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		58	58	58

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	568	546	543

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	568	546	543

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	団員	団員	団員
受益者数	105	96	78
受益者負担額(千円)	139	164	59
受益者負担率(%)	24.5%	30.1%	10.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,410	5,682	6,955

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	団員数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	90	90	90
実績値	105	96	78

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	団員数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	90	90	90
実績値	105	96	78
達成状況	○（達成）	○（達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域や異年齢間での交流機会が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっていると言われている。 子どもの健全育成という社会目的であること、岐阜市内で活動する団体であることから、岐阜市が補助を行うのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助額は少額ではあるが、スカウティング活動をとおして学校や家庭ではできない体験をする中で、世代間の隔たりを超え、人間としての成長がある。 他団体からの補助金交付は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	スカウティング活動をとおして情緒豊かな感性や社会性を養うとともに、文化振興に貢献しており、これまでに多くの青少年の健全育成に寄与してきた。 また、学校生活においてうまく表現できない子が自己有用感を得られる場となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	Teamsで全学校へ青少年育成団体のチラシを配布し、広く団員の募集を行っている。 公費負担額に比べ団の負担額が大きく適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	募金活動などの社会活動や野営活動などの交流を活発に行っている。 このようなスカウティング活動を行い、指導者や異年齢の子ども同士での交流を通して、青少年の健全育成及び文化振興に貢献しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	028
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜ジュニア吹奏楽団運営費補助				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	岐阜ジュニア吹奏楽団
実施期間	昭和57 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則 岐阜市青少年各種団体運営費補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		異年齢の繋がりをとおして、好ましい人間関係、豊かな感性、社会性を養う団体であるため、財政的に支援することで青少年の健全育成を促進する。
事業の内容		岐阜ジュニア吹奏楽団の活動運営費にかかる経費の一部を補助する。
事業 の 対 象	何を	補助金
	誰に	岐阜ジュニア吹奏楽団
	どのくらい	87,000円
令和3年度 (実施内容)		活動運営費にかかる経費の一部を補助した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	510	15	488	15	485	15
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	510	15	488	15	485	15

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		87	87	87
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	87	87	87
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		87	87	87

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	597	575	572

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	597	575	572

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	団員	団員	団員
受益者数	43	33	29
受益者負担額(千円)	1,945	2,074	1,045
受益者負担率(%)	325.8%	361.0%	182.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	13,884	17,409	19,707

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	団員数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	40	40	40
実績値	43	33	29

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	団員数	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	40	40	40
実績値	43	33	29
達成状況	○（達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域や異年齢間での交流機会が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっていると言われている。 子どもの健全育成という社会目的であること、岐阜市内で活動する団体であることから、岐阜市が補助を行うのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助額は少額ではあるが、吹奏楽活動をととして学校や家庭ではできない体験をする中で、世代間の隔たりを超え、人間としての成長がある。 他団体からの補助金交付は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	吹奏楽活動をととして情緒豊かな感性や社会性を養うとともに、文化振興に貢献しており、これまでに多くの青少年の健全育成に寄与してきた。 また、学校生活においてうまく表現できない子が自己有用感を得られる場となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	Teamsで全学校へ青少年育成団体のチラシを配布し、広く団員の募集を行っている。 公費負担額に比べ団の負担額が大きく適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	各種依頼戦争に出演し、信長まつり音楽隊パレードにも参加している。また定期大会や合宿も行っている。 このような吹奏楽活動を行い、指導者や異年齢の子ども同士での交流を通して、青少年の健全育成及び文化振興に貢献しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	029
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜市バトントワリング少年団育成連絡協議会運営費補助				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体育成(運営)補助金	実施主体	岐阜市バトントワリング少年団育成連絡協議会
実施期間	平成6 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則 岐阜市青少年各種団体運営費補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		異年齢の繋がりをとおして、好ましい人間関係、豊かな感性、社会性を養う団体であるため、財政的に支援することで青少年の健全育成を促進する。
事業の内容		岐阜市バトントワリング少年団育成連絡協議会の活動運営費にかかる経費の一部を補助する。
事業 の 対 象	何を	補助金
	誰に	岐阜市バトントワリング少年団育成連絡協議会
	どのくらい	30,000円
令和3年度 (実施内容)		活動運営費にかかる経費の一部を補助した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	510	15	488	15	485	15
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	510	15	488	15	485	15

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		30	30	30
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	30	30	30
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		30	30	30

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		540	518	515

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		540	518	515

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	団員	団員	団員
受益者数	94	70	63
受益者負担額(千円)	128	130	940
受益者負担率(%)	23.7%	25.1%	182.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,745	7,393	8,167

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	団員	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	50	50	50
実績値	94	70	63

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	団員	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	50	50	50
実績値	94	70	63
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	地域や異年齢間での交流機会が減少していることが、子どもの健全育成を妨げる要因の一つになっていると言われている。 子どもの健全育成という社会目的であること、岐阜市内で活動する団体であることから、岐阜市が補助を行うのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	補助額は少額ではあるが、バトントワリング活動をととして学校や家庭ではできない体験をする中で、世代間の隔たりを超え、人間としての成長がある。 他団体からの補助金交付は困難である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	バトントワリング活動をととして情緒豊かな感性や社会性を養うとともに、文化振興に貢献しており、これまでに多くの青少年の健全育成に寄与してきた。 また、学校生活においてうまく表現できない子が自己有用感を得られる場となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	Teamsで全学校へ青少年育成団体のチラシを配布し、広く団員の募集を行っている。 公費負担額に比べ団の負担額が大きく適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	市内・県内の各種イベントステージに出演し、信長まつり音楽隊パレードにも参加している。また団体演技・個人ソロコンテストなどバトントワリング大会に多くの選手が出場した。 このようなバトントワリング活動を行い、指導者や異年齢の子ども同士での交流を通して、青少年の健全育成及び文化振興に貢献しており、当該団体の活動が円滑に実施できるよう助成する。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	030
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	中央青少年会館管理運営委託				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	委託(出資団体)	補助等の種類		実施主体	(公財)岐阜市教育文化振興事業団
実施期間	令和2 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市青少年会館条例 岐阜市青少年会館条例施行規則	

【2.事業概要】

事業の目的		(1) 青少年の居場所として (2) 青少年育成団体の活動拠点として (3) 地域住民の生涯学習施設として
事業の内容		(1) 青少年育成事業(講座、相談、学習支援等、居場所機能、青少年育成団体の支援、他青少年会館の統括) (2) 貸館の管理業務(予約対応、使用料徴収、美化管理、修繕等)
事業の対象	何を	青少年を対象とした各種事業及び施設の管理運営
	誰に	青少年(35歳未満)、青少年育成者、一般市民
	どのくらい	年間約3万人
令和3年度(実施内容)		青少年の自己実現を応援する施設として、社会参加の促進、社会的自立支援、学びの提供の場となるよう青少年講座などの学習機会を提供し、少年団体活動等の支援を行い、若者の居場所となるよう機能の充実に努めた。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,224	36	1,170	36	1,163	36
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	1,224	36	1,170	36	1,163	36

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		8,478	35,646	35,048
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	委託料	3,163	35,646	35,048
	工事・修繕費	3,418	0	0
	光熱水費	1,897	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		8,478	35,646	35,048

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	9,702	36,816	36,211

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	1,484	1,081	1,161
その他			
計(F)	1,484	1,081	1,161

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	8,218	35,735	35,050

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	利用者	利用者	利用者
受益者数	28,963	19,303	24,266
受益者負担額(千円)	1,484	1,081	1,161
受益者負担率(%)	15.3%	2.9%	3.2%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	284	1,851	1,444

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	開館日数	単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	252	233	224
実績値	252	233	224

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用者	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	28,000	15,000	15,000
実績値	28,963	19,303	24,266
達成状況	○（達成）	○（達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	青少年の自己実現のため、居場所機能の充実を図る社会教育施設として大きな役割を担っている。 令和2年度から市の外郭団体である公益財団法人を指定管理者としている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	費用面においては、指定管理者導入時に費用を精査したことから、直営時より安価な金額となっている。 また、青少年や青少年育成団体が無料で利用できる唯一無二の施設であり、市内全域にあることで公平な利用を確保しなければならない。 市の外郭団体である公益財団法人を指定管理者としている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	令和元年度2月からコロナ禍の影響で、キャンセル、休館、時間短縮を余儀なくされたり、利用者を半数におさえなければならない期間もあり、利用者が激減しているが、コロナ禍前では年間30,000人を超える多くの利用がある。 また現在、岐阜市の青少年、特に小、中、高、大学生の居場所として有効に活用されており、特に困難を有する若者の支援として、隣接するエールぎふや草潤中学校との連携を強化している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	青少年育成施設であり、青少年の利用は無料であるが、青少年以外の市民についても生涯学習の観点から使用を求めている。 その場合、青少年会館条例に定める施設使用料を徴収しており、受益者負担として適正と考えている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	現在では、草潤中学校やドリームシアター、エールぎふと連携の上、特に困難を有する若者がサードプレイスとしての居場所となるよう位置づけられるようになり、青少年会館に対する期待値が大きくなっている。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	031
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	PTA連合会運営費補助事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市PTA連合会
実施期間	昭和23 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則 岐阜市青少年各種団体運営費補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜市PTA連合会の活動促進
事業の内容		岐阜市PTA連合会が実施するPTA活動の促進を目的とした大会の実施に係る補助
事業 の 対 象	何を	補助金
	誰に	岐阜市PTA連合会
	どのくらい	240千円
令和3年度 (実施内容)		なし 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、岐阜市PTA大会が中止されたことや、岐阜市PTA実践発表会がオンライン開催になったことにより、会場費等の支出が減少したため、団体から交付申請はしないと申し出があった。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	156	15	155	15	155	15
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	156	15	155	15	155	15

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		240	240	240
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	240	240	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		240	240	240

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	396	395	395

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	396	395	395

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市PTA連合会会員	岐阜市PTA連合会会員	岐阜市PTA連合会会員
受益者数	27,825	27,245	26,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	14	14	15

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	補助金額	単位	千円
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	240	240	240
実績値	240	240	0

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	主催事業開催回数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	2	2	2
実績値	2	1	1
達成状況	○（達成）	×（未達成）	×（未達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	PTA活動は子どもたちの健やかな成長を促進する上で学校と並ぶ重要な活動であり、本市における社会教育活動の振興を図るうえで助成は必要である。 市内72校の保護者による連合会の事業に対するものであり、岐阜市が補助するのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ボランティア活動であり、受益者も多いことから費用対効果は高いと考える。 市内の小・中学校の保護者及び教職員で構成する連合会が行う事業に対して補助している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	学校教育を補完する本市PTA活動の振興・発展に寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	受益者は、市内の小・中学校の保護者と教職員で構成される市PTA連合会であり、適切である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	本市PTA活動のさらなる振興・発展のため事業継続が不可欠である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	032
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	視聴覚教育連絡協議会補助				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	団体事業補助金	実施主体	岐阜市視聴覚教育連絡協議会
実施期間	昭和29 年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市補助金等交付規則 岐阜市視聴覚教育連絡協議会補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		岐阜市視聴覚教育連絡協議会活動の促進
事業の内容		岐阜市視聴覚教育連絡協議会が毎年実施する事業に係る補助
事業 の 対 象	何を	補助金
	誰に	岐阜市視聴覚教育連絡協議会
	どのくらい	100千円
令和3年度 (実施内容)		岐阜市視聴覚教育連絡協議会が実施する事業へ補助金を支出した。また、協議会の運営指導を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	156	15	155	15	155	15
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	156	15	155	15	155	15

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		100	100	100
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	100	100	100
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		100	100	100

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	256	255	255

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	256	255	255

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜市視聴覚教育連絡協議会会員	岐阜市視聴覚教育連絡協議会会員	岐阜市視聴覚教育連絡協議会会員
受益者数	107	101	99
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,393	2,520	2,571

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	団員	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	100	100	100
実績値	107	101	99

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	大会作品応募者	単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	200	200	200
実績値	200	187	243
達成状況	○（達成）	×（未達成）	○（達成）

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	低	誰もがスマートフォンなどのICT機器を活用する昨今において、旧来の視聴覚教育(写真撮影、映像)としてあり方を問われている。 各地区組織の連合体である協議会の事業に対して市が助成するものである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市の依頼に応じて写真撮影を無償で行っており、撮影を委託した場合のコストを考えると効率性はよい。 連絡協議会への補助である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	事業を通して、広く視聴覚教育の振興を図っている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	構成員も岐阜市内全地域から集まっているわけではなく、一部の受益者となっているが、コンクールなどの募集は全地域へ行っている。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	この時代に、視聴覚教育を推進する意義は、ICT機器の活用にあり、写真撮影や映像撮影を行う、一部の地域の集まりである団体を特定して補助する必要性は薄れていると思われる。 しかし、生涯学習の場として、大人が生き生きと活動できる社会教育団体であること、市の撮影協力にも応じてくれるボランティア団体であることから、今後も最低限の補助を継続するのが効率的である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	033
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	家庭教育学級事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	その他	補助等の種類	-	実施主体	各学校PTA等、岐阜市
実施期間	昭和30年度代～	年度	根拠法令・関連計画	社会教育法	

【2.事業概要】

事業の目的		家庭環境や価値観の多様化する現代において、家庭における教育力の充実・向上を図る。
事業の内容		各校における家庭教育学級の開催促進、啓発。
事業 の 対 象	何を	家庭教育学級の開催
	誰に	71校(幼稚園2、小学校46、中学校22、特別支援学校1)の保護者及び児童
	どのくらい	3回程度
令和3年度 (実施内容)		各校における家庭教育学級の開催を促進した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,400	100	3,250	100	3,230	100
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	3,400	100	3,250	100	3,230	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		461	222	211
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	講師謝金	376	131	96
	消耗品費	85	91	115
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		461	222	211

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	3,861	3,472	3,441

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	3,861	3,472	3,441

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	家庭教育学級受講者(保護者・児童)	家庭教育学級受講者(保護者・児童)	家庭教育学級受講者(保護者・児童)
受益者数	33,884	11,788	33,482
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	114	295	103

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	家庭教育学級開催数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	300	300	300	
実績値	281	81	105	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	家庭教育学級受講者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	25,000	25,000	25,000	
実績値	33,884	11,788	33,482	
達成状況	○（達成）	×（未達成）	○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	家庭環境や価値観が多様化しており、核家族化が進む現代において、家庭における教育力の充実・向上を図る必要性がある。 社会教育法において、市町村の事務として規定されている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	保護者同士のつながりを深めることや、家庭での教育力の充実・向上に繋がるため効果は大きい。 社会教育法において、市町村の事務として規定されている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	コロナ禍により、参加者が減少しているが、基本的には在宅型の取り組みを推奨し、家庭で取り組める内容を盛り込むことで、参加者が増加し、家庭教育の充実・向上が図られている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市立幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校の子ども及び保護者で構成される各校での開催であり、特定者に受益させるものではない。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	教育の出発点である家庭における教育力の充実・向上を図るため継続が必要である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	034
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	成人視聴覚教育				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	直営	補助等の種類	-	実施主体	岐阜市
実施期間	昭和40 年度代～ 年度	根拠法令・関連計画	-		

【2.事業概要】

事業の目的		視聴覚教材の貸出を行い、視聴覚学習を推進することで、学校教育及び生涯学習の振興を図る。
事業の内容		社会教育、学校教育、ボランティア活動などに利用するため、視聴覚教材と視聴覚機器の貸出を行う。
事業の対象	何を	視聴覚教育の貸出
	誰に	社会教育関係団体、学校など
	どのくらい	250回
令和3年度(実施内容)		視聴覚教材と視聴覚機器の貸出を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	1,040	100	1,030	100	1,030	100
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	1,040	100	1,030	100	1,030	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		180	167	246
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	資料購入費	138	128	138
	事業用器具費	0	0	70
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		180	167	246

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,220	1,197	1,276

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	1,220	1,197	1,276

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	社会教育関係団体、学校	社会教育関係団体、学校	社会教育関係団体、学校
受益者数	888	888	888
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,374	1,348	1,437

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	教材の新規購入数		単位	本
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	4	2	2	
実績値	2	2	2	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	機材・教材の利用回数		単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	250	250	250	
実績値	252	57	38	
達成状況	○（達成）	×（未達成）	×（未達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	公民館講座や地域の視聴覚クラブで多く利用され、地域の社会教育活動の振興に寄与している。
		視聴覚教育の推進に関し、国・県・市町村レベルで段階的に取り組まれているものである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	公民館講座や地域の視聴覚クラブで多く利用され、地域の社会教育活動の振興に寄与しているため、費用に対する効果は十分に見込まれる。
		視聴覚教育の推進に関し、国・県・市町村レベルで段階的に取り組まれているものである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	公民館講座や夏休みに開催される校区子ども映画会へ教材・機材の貸出を行うなど、地域の社会教育活動の振興に大きく貢献している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者は、社会教育関係団体や地域住民のため適正である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。))・廃止)	現状維持	地域の視聴覚教育の充実・振興のため継続が必要である。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	035
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜県社会教育委員連絡協議会郡市分担金				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	岐阜県社会教育委員連絡協議会
実施期間	昭和37 年度～	年度	根拠法令・関連計画	-	

【2.事業概要】

事業の目的		県・市町村社会教育委員及び社会教育関係者の連絡連携を図り、現代的課題の解決をめざして、社会教育の振興発展に寄与することを目的とする。
事業の内容		社会教育委員等の職務を遂行するために必要な連絡・協議・研修に関することや、社会教育に関する資料の収集及び情報の交換を実施している岐阜県社会教育委員連絡協議会に対し負担金を支出している。
事業の 対象	何を	負担金
	誰に	岐阜県社会教育委員連絡協議会
	どのくらい	235千円
令和3年度 (実施内容)		岐阜県社会社会教育連絡協議会への負担金を支出した。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	34	1	33	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	34	1	33	1	32	1

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		235	235	235
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	235	235	235
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		235	235	235

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	269	268	267

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	269	268	267

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	岐阜県・市町村社会教育委員 市町村社会教育関係者	岐阜県・市町村社会教育委員 市町村社会教育関係者	岐阜県・市町村社会教育委員 市町村社会教育関係者
受益者数	1,000	1,000	1,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	269	268	267

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	負担金額	単位	千円
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	235	235	235
実績値	235	235	235

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	会議開催数	単位	回
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値	2	2	2
実績値	2	2	2
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	社会教育の振興発展のための連携協力が必要である。 社会教育の振興発展のための県レベルで設置された組織への負担金支出のため必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜県内の社会教育委員の連絡連携を図ることは、岐阜市の社会教育の振興発展につなげるため必要である。 県内の社会教育の情報収集や研修の開催などを行う協議会は必要である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	研修会の開催や、県内の社会教育の情報提供など、本市の社会教育活動の振興発展につながっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市町村に応じた負担であり適正。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	社会教育の振興発展のための連携協力が必要であるため継続していく。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	2340910	036
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	子どもの登下校安全確保事業				
担当部名	教育委員会事務局	担当課名	社会・青少年教育課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他補助金	実施主体	岐阜市、岐阜市PTA連合会
実施期間	令和元 年度～	年度	根拠法令・関連計画	登下校防犯プラン(H30.6.22関係閣僚会議決定) 岐阜市子どもの登下校安全確保事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的		平成30年に国が策定した「登下校防犯プラン」や昨今の事件等を踏まえ、子どもの登下校時における安全確保を補完する方策の一つとして、市、市PTA連合会、中部電力が連携し、GPS位置情報を活用した子どもの見守りサービスに加入契約した保護者に費用の一部を助成し、加入の促進を図る。
事業の内容		対象となる児童・生徒の保護者が、任意により当サービスに加入契約した場合、当該保護者に代わって、端末代を含む初期登録手数料を市が負担する。
事業 の 対 象	何を	端末代を含む初期登録手数料
	誰に	岐阜市立小学校1年、岐阜市立岐阜特別支援学校小学部1年に在籍する子どもの保護者で、見守りサービスに加入契約した者
	どのくらい	634人
令和3年度 (実施内容)		岐阜市立小中学校及び特別支援学校の全学年に在籍する子どもの保護者で、見守りサービスに加入契約した者 961人に4,756,950円の補助を行った。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,400	100	3,250	100	1,615	50
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		515	50
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	3,400	100	3,250	100	2,130	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		9,854	4,757	2,570
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	補助金	9,854	4,757	2,570
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		9,854	4,757	2,570

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	13,254	8,007	4,700

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	13,254	8,007	4,700

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	保護者	保護者	保護者
受益者数	2,283	961	519
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,806	8,332	9,056

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	加入者数		単位	人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	9,529	3,693	507	
実績値	2,283	961	519	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	補助金額		単位	千円
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	40,956	18,283	2,512	
実績値	9,854	4,757	2,570	
達成状況	×（未達成）		○（達成）	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	平成30年5月に、新潟市において下校途中の児童が殺害されたことを受け、同年6月に登下校防犯プランが関係関係会議において決定された。この中にICタグ活用等による子どもの危険回避対策が柱の一つとして盛り込まれたという背景がある。 岐阜市PTA連合会から財政的支援を要望されており、国や県が助成していないため、市で負担する必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	犯罪をどの程度未然に防げたかは不明だが、保護者から子どもの居場所が分かるため、安心という声はよく聞く。 また、加入時の端末代を含む加入負担金は岐阜市が負担するものの、その後の毎月の通信料は保護者が負担しており、過度に岐阜市に負担がかかるわけではない。 既存のどこニャンサイトを使用した中部電力による契約が安価で効率的と思われる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	犯罪を未然に防ぐ効果があるが、検証は難しい。 しかし、問合せは多数あり、事業への関心は高いと考えられる。 また、地域における不審者情報の有無や、家庭での危機意識にも違いが大きいと思われるため、保護者が加入したい時に、負担金を助成することで加入しやすくする制度を残すことは重要である。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	岐阜市立小学校、岐阜市立岐阜特別支援学校に在籍する小学1年生の児童の保護者が対象であり、特定者に受益させるものではない。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。）・廃止)	現状維持	子どもたちの安全や保護者の安心を考え、事件の抑止力に繋がる当事業は重要なものであり、引き続き実施すべきと考える。 今後、小中学校に携帯やスマートフォンの持ち込みが可能になったとしても、経済的な理由で持ち込みができないこともあるため、制度として残していくことが重要である。